

第4回

海外で暮らす子どもたちの ことばと進路 を考えるセミナー 2026

オンライン
無料セミナー

2026
6/28(日)
12:00~14:00
(日本時間)

複数言語環境下のことばの問題を子どもの視点から考える。
おとなが知らない現場での教育と子どもの学び、その将来。

特別講演



池上摩希子 (いけがみ まきこ) 早稲田大学大学院日本語研究科教授

「複言語環境で成長する子どものことばを豊かに育てるために」
—「継承日本語教育」を理論と実践の両面から考える—

複数の言語や文化を背景に成長する子どもたちは、どのような課題を抱えて成長しているのでしょうか。言語教育に携わる立場から、あるいは家族として子どもたちの育ちを見守る立場から、考えたいことはたくさんあります。今回の講演では、日本語を「継承」とはどういうことかについて、理論と実践の両側面から捉え直しを試みます。それによって、複言語環境で成長する子どものことばの様相を再考し、ことばを豊かに育てる意味について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

池上摩希子：専門は日本語教育学。成人であれ子どもであれ、「人がことばを学ぶ意味」を考えています。

書籍：『日本語のサポートが必要なJSL児童のための算数科授業づくり22』

『バンコク発！ことばと文化を育む継承日本語教育実践：親子でつくる「テーマ型体験活動」の教室から』（共編著）他

事例報告



能城 黎 (のしろ れい) 啓明学園国際教育センター主任

「移動」を経験した帰国生の「ことば」を新たな視点から捉え直す

帰国生の多くが、自分の意志ではなく様々な「移動」を経験しています。直面する課題もそれぞれで一括りにはできない難しさもあります。「モノリンガル」な国である日本において、そのような子どもたちの「ことば」をどう捉えればいいのか、学校現場で実際に出会ってきた帰国生の声を紹介しながら、ともに考える時間をもちたいと思います。

啓明学園：東京都昭島市にある私立小・中・高校。1940年の創立以来、帰国子女を受け入れる帰国生教育の先進校。日本語教育と国数理社の少人数取り出し授業、国際水準へ引き上げる英語教育に定評と実績あり。

能城 黎：啓明学園日本語国語科教諭。自身も米国からの帰国子女で、帰国生のことばの問題を熟知し、移動を余儀なくされる子どもの心に寄り添う教育を実践。

視聴方法

以下の URL よりお申込みください。

<https://kotobaseminar2026.peatix.com>

イベントポータル Peatix に登録し、「チケット(無料)」を購入してください。

